

新上里

No.250

2024年度
3月
議会報告

発行
日本共産党
上里町議員
生活相談は下記へ
くつぞわ幸子
34-0644



一般会計当初予算は町政史上初めて否決、修正し可決！
一般会計予算は127億3,388万円 前年比19億8,488万円の増

3月定例議会における町長提出議案は、条例の一部改正10件、条例等の整理1件、道路の廃止・認定各1件、工事請負契約の変更1件（リバーサイドロードの築造工事費146万99600円の追加）、公の施設の相互利用協議の変更1件、令和6年度補正予算4件、令和7年度予算7件の26件でした。日本共産党は、当初予算の一般会計予算、特別会計の国保・介護・後期高齢者医療保険特別会計予算に反対しました。

高齢者 補聴器補助が実現しました

2025年度(R7)当初予算は、127億5770万円で提案されましたが、反対7人、賛成6人で否決されました。その後、2382万円を減額し、前年度比で約20億円、18・5%増の修正予算が再提出されました。大きな改善点が見られなかったため共産党は反対しましたが、賛成多数で可決されました。

25年度の新規事業は55事業で、12億3906万6千円です。

一般質問で要望してきた、高齢者補聴器購入補助（2万円）と物価高騰対策として、水道料金等の軽減、小中学校のトイレ清掃業務委託が実現しました。また、議会も要望してきたデマンド交通の運行が開始されます。学校給食費補助は、無償化

会計名	当初予算	前年度比	増減比
一般会計	12,733,880	1,984,880	18.5
特別会計	5,923,380	154,822	2.7
国民健康保険	3,254,706	16,943	0.5
介護保険	2,218,209	132,861	6.4
後期高齢者医療	450,465	5,018	1.1
合計	18,681,080	2,163,523	13.0
公営企業会	5,724,446	1,937,284	51.1
水道事業	収入 1,996,606	911,979	84.1
	支出 2,063,903	964,624	87.8
下水道事業	収入 773,190	34,113	4.6
	支出 848,812	29,490	3.6
農業集落排水事業	収入 19,365	△1646	△7.8
	支出 22,570	△1276	△5.4

「あれもこれもではなく！」
向う一歩前進しましたが、わずかな補助に留まりました。物価高騰が続く今こそ給食費の無償化など負担軽減が重要ですが、町は、住民要望には「財源不足」を強調し、開発には前のめりです。

公共施設維持保全計画も沢山！
今年度は、保健センター等複合施設建設など、公共施設維持保全計画に基づいた計画事業が目白押しです。待望の中学校体育館の空調工事の実現し、次は小学校体育館の空調整備、遅れている学校の

駅北まちづくり推進事業の駅北東通り線用地測量業務委託料・同沿道開発等検討業務委託料等は、「単年度事業」ですが、今後継続的に多額の財源が必要となりま

す。何よりも駅北まちづくりの全体像も、財政計画も示さず説明不足です。あれも、これでもではなく、住民の暮らしや将来不安が増大する今、限られた財源で何を優先するか見極めるべきです。

2025年度の主な公共施設工事等事業（単価：千円）

◇保健センター等複合施設建設工事・監理業務	988,673
◇旧3館解体設計業務委託料	18,480
◇男女センター等複合施設改修工事・監理業務	468,800
◇七本木公民館解体工事設計	4,070
◇上里東公民館計画改修工事設計	7,150
◇体育館トイレ改修工事・監理業務	35,939
◇賀美小学校営繕工事設計	13,166

トイレの洋式化も必要です。町は計画事業を進めながら、町民要望に応える必要があります。

安心の町づくりとは…

今年度は、町債（借入）を16億750万円発行し、基金を14億9428万円繰入れます。（うち財政調整基金は8億9901万7千円）借金が増えれば、次は返済額が増えます。人件費の増額も増加する中で、経常収支比率が高くなれば自由度が狭まり、住民のささやかな願いがますます先送りされるかと考え反対しました。

修正予算は2事業 2,382万円！

当初予算の一部修正の1つ、◆神保原駅南北自由通路調査設計業務委託料2409万円の削減です。自由通路の耐震診断及び補修工事は2021年(R3)までに実施済みですが、新たに通路に屋根を設置するための耐震診断を実施するためのものでした。もう1つは、◆学校給食費補助金を27万円増額し、2905万2千円に修正したこと。当初提案は、同時に義務教育を受けている2人目以降の児童・生徒599人を無償にする内容でしたが、修正後は、対象者を全児童・生徒1,818人に拡大しましたが、無償化の公約を反故にし、「せめて1/2補助を」の提案にも背を向け、わずか1/3補助となりました。

また、給食については、物価高騰から給食の質を守り、保護者負担を増やさないよう求めてきた結果、公費負担額は、R4年度は1食4円でしたが、R6年度は17.36円、R7年度は35.11円に増額されてきました。

特別会計は、65歳以上人口の増加に伴い、介護保険会計は前年度比で6・4%増となりました。介護9期計画では、保険料を抑えるため基金を取り崩すと説明していましたが、3月補正では、基金は不要となり、3年サイクルの計画ですが、逆に積み上げる結果となりました。医療も・介護も、支出は必要な医療・介護の給付事業ですが、所得に対する負担感が重すぎることに、反対しました。

水道事業は、前年度に続き浄水場の改修工事、機械・電気の更新工事、新たに25年度から自家発電設備の更新工事に着手します。また、漏水調査と漏水管の布設替え、「上里町水道事業ビジョン」の策定事業を実施します。

下水道事業は、企業債を3億3930万円借り受け、駅南の配管工事を進めます。インフラ整備は重要であり、公営企業会計も、起債が増加しています。

◇今年度は、総合振興計画、環境基本計画（2か年計画）など、7つの計画策定及び策定に向けた調査が実施されます。

沓沢の3月議会的一般質問

- 1、平和事業について
①町の平和事業について
②広島・長崎の平和記念式典等の参加について
③関東大震災慰霊事業について
- 2、猛暑対策について
①低所得世帯のエアコン整備補助について
②夏場の子ども遊び場対策について
③猛暑日の登下校対策について
- 3、ごみ減量と環境問題について
①プラスチック類回収の検討状況について
②資源回収の拡大について
③公共施設の再生可能エネルギー拡大について

平和事業について

ことは、戦後80年、被爆80年、世界を見れば、まだ戦時中の国が沢山あります。過去の戦争の歴史を忘れることなく、再び戦争をしない・させないという人を増やすことが重要であると考え質問しました。

【沓沢】戦後・被爆80年の節目の年にあたり、平和講演会・写真展・コンサートなど非核都市宣言の町に相応しい平和事業の取り組みをもとめました。また、広島市は平和記念資料館に子ども向け展示場を新設し、平和式典の次世代派遣に補助することから、中学生の派遣に取り組む考えは。

【町長】広報誌に平和に関する特集ページを



猛暑対策について

今年度も、猛暑予想が出ています。危険な猛暑日が続く夏のエアコンは必須であり、一番暑い時間帯に下校する児童の健康を守る早めの対応が必要と考え質問しました。

【沓沢】経済的な理由で使えないエアコンが、購入及び設置、又は修理に必要な費用を国の省エネ補助にプラスして実施する考えは。

【町長】北部福祉事務所に確認したが、エアコン未設置の保護世帯は少数だ。要望を踏まえた上で救済措置が必要。他市町村の事例を踏まえ前向きに検討したい。

【沓沢】児童館の土・日開館で夏場の遊び場確保をする考えは。

【町長】現在は、主館二館（神保原・七本木）は土曜日も利用が可能だが、平日に比べ小学生の利用者は少ない。ニーズを改めて検証し検討したい。

【沓沢】危険な猛暑日の下校対策として、通学路に木陰を作れないか。静岡県焼津市の様に、学校に保冷剤用冷凍庫を設置できないか。

【教育長】熱中症対策

ごみ減量と環境問題について

を講じなければならぬ。冷却タオル等の活用に加え日傘の活用、背中や顔などの冷却グッズ等も周知したい。冷凍庫は便利だが用意はない。

【沓沢】プラスチック類の回収にむけた児玉郡市内の検討状況とストックヤードの検討は。

【町長】児玉郡市清掃行政研究会では、回収している伊勢崎市や、ストックヤード候補地の民間事業者視察を行った。各市町にストックヤードの設置の検討は難しい。町単独で行った場合、年間約6800万円が見込まれる。

【沓沢】資源回収しやすい環境づくりとして、行政区のゴミステーションにモデル的に常設回収所を設置できないか。

【町長】モデル設置には、分別品目や管理方法、分別コーナーの設置場所、回収方法と費用の検討、区長の協力

を得るための説明会開催など課題も時間も要するが、調査・研究を進めたい。

【沓沢】国は公共施設の建物や土地に対し太陽光パネルの設置を義務づけた。2030年までに50%、40年までに100%導入の目標達成に向け、設置計画を早急に立てる考えは。

【町長】所有施設について、太陽光パネルが設置可能か否かの判断を行い、結果をもとに設置計画を策定したい。

プラスチック回収進まず！



児玉郡市のプラスチック類回収は、財政的課題が大きく、計画開始目標も未だ定まっています。資源回収は自治体任せになっていますが、温暖化対策から見ても、排出企業責任と国の補助制度が必要です。

【陳情】

埼玉県医療介護労働組合連合会から提出された、「安全・安心の医療・介護の実現のため人員増と処遇改善を求め」意見書を国に提出することを求める陳情は継続審査となりました。

可決された条例の一部改正の内容

- ◇マイナンバーに関する上位法の改正による変更。
◇仕事と育児・介護の両立が出来る措置として、職員の超過勤務の免除要件、子の看護休暇を拡大。
◇人事院勧告に準じて給与等の引上げ。
◇消防団員の任用条件を「居住する」から「居住し、又は勤務する」に拡大。
◇ひとり親家庭の医療費の窓口支払い無くなる。
◇消防団員の退職金、勤務年数5年未満で上限30年以上を35年以上にする。
◇上位法に基づき「高齢者、障害者等の移動等の円滑化に必要な特定公園施設の設置基準の改正を行う」。
◇地域型保育事業等小規模事業
- ◇マイナンバーに関する上位法の改正による変更。
◇仕事と育児・介護の両立が出来る措置として、職員の超過勤務の免除要件、子の看護休暇を拡大。
◇人事院勧告に準じて給与等の引上げ。
◇消防団員の任用条件を「居住する」から「居住し、又は勤務する」に拡大。
◇ひとり親家庭の医療費の窓口支払い無くなる。
◇消防団員の退職金、勤務年数5年未満で上限30年以上を35年以上にする。
◇上位法に基づき「高齢者、障害者等の移動等の円滑化に必要な特定公園施設の設置基準の改正を行う」。
◇地域型保育事業等小規模事業
- ◇水道事業に携わる職員の減少対策として、布設工事監督者の資格要件の内、「10年間の実務経験は水道に関するもの」を、「半分は工業用水道、下水道、道路及び河川分野でも可」とする変更。

24年度（R6）補正等

- ・神流リバーサイドロード築造工事の当初請負額は、5,911万700円でしたが、12月に続き2回目の変更を行い最終請負額は6,614万6300円に。
- ・一般会計補正予算は、1億324万7千円の増額。
- ・国民健康保険特別会計は1098万1千円の減額。
- ・介護保険特別会計は1億125万6千円の増額。
- ・後期高齢者医療保険特別会計は613万6千円の減額補正でした。